

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
シニアステージ観音寺新町

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.2</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1.2 遮音						<b>3.6</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		居室の間仕切り壁を天井裏まで立ち上げている				4.0	0.60	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.7</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.7</b>
2.1 室温制御						<b>3.3</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		居室の間仕切り壁を天井裏まで立ち上げている				4.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.7</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.9</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆以上の材料とした。				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						<b>5.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00		-	
<b>Q2 サービス性能</b>							<b>0.30</b>			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.5</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00	<b>4.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>4.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		居室の広さが10㎡以上ある。				3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		建築物移動等は円滑化誘導基準に適合している。				4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		ホテル風のモダンな外観イメージを取り入れて来ている。				3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-		-	
3 内装計画		内観パースによる事前検証をしている。				4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理						<b>2.5</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.0</b>	0.30			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.4</b>	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						4.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						4.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐久性のある材料の使用。				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		耐久性のある材料の使用。				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						<b>2.8</b>	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		天井内配管としている。	4.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		庭をリビング・ダイニング面に見掛け快適性の向上を図っている。	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		外皮の基準をクリアするように設計している。	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用		リビング・ダイニングに積極的に自然採光を取り入れるよう計画した。	4.0	0.10		-	4.0
3 設備システムの効率化		[BEI][BEIm] = 0.94	2.3	0.50		-	2.3
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00		-	
集合住宅の評価			3.0	-		-	
4.1 モニタリング			3.0	-		-	
4.2 運用管理体制			3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆以上の材料の使用。	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		省エネの基準をクリアするように設計している。	3.2	0.33		-	3.2
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			3.0	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	